

合格体験記

「惑わされないこと」

奈良県立大学 地域創造学部 地域創造学科

これから私の受けた推薦入試の説明と、いつ頃にどんなことをしていたか、最後に皆さんにお話しておきたいことを4つ紹介したいと思います。

<自分の受けた入試の説明>

私は奈良県立大学地域創造学部の推薦入試を受けました。推薦入試と聞いて、ハードル高そう…と思ったそのあなた、この大学は学校長が推薦できると思えば受けることができる入試です。試験の内容は主に英文の課題文を読んで日本語で問いに答える問題、和文の課題文を読んで自分の意見を書く問題に加えて、面接、調査書の点数、志望理由書を総合して合否が決まります。

<スケジュール>

私は3年生の5月頃に受験校を決定しました。この頃の私はいろんな大学を調べすぎて「あーもう名前のある京都の大学ー」くらいの気持ちでいました。そのときに先生が「国公立大学目指さへんか？」ということで奈良県立大学を薦めてくださいました。夏休みにはオープンキャンパスへの参加と小論文指導に加えて共通テスト対策、公募推薦入試の対策を始めました。オープンキャンパスで入試の過去問の写真を撮ったり、個別相談で大学の授業について質問したりしました。小論文指導では、自分が書いた文章を先生に何度も見てもらうことで上達していきました。その後、9月頃は文化祭と戦いながら受験勉強に励み、11月には入試本番を迎えました。

<伝えたいこと>

○朱雀の合格実績に惑わされないこと

朱雀でこの大学に行っている人が多いから、少ないからといって受験校を考えるのは危険です。少なくとも受かる人は受かるし、多くても受からない人は受かりません。

○推薦入試を恐れずに受けてみる

推薦入試という名前だけで「選ばれし者しか受けることができない」と思っているなら、その固定概念をなくしてください。私が高校一年生のとき進路の話を3年生から聞いて「推薦入試の話ばかりで一般入試で受けるであろう私には関係ない」と思っていました。でも私は推薦入試で受かったし、なんなら推薦入試しか受けていません。

○面接は堂々と

私が面接のとき面接官に持った印象は、自分に興味を持っているな、というものでした。へりくつでも意見は意見として受け入れられました。

○計画的な入試日程で受ける

多くの推薦入試は11月に集中しています。日程がかぶったり、毎日何かしらの入試を受けてしまうことになる場合もあるので、無理のないように計画を立ててください。その上で、落ちたときにはどのタイミングで次の受験をするか考えて欲しいです。

いろいろお話ししてきましたが、結局のところ今の皆さんができることは勉強をすることです。特に、皆さんと私たちとでは入試が変わるため、過去問がいっさい無い入試を経験するのもかもしれません。ですが、きっと勉強してきた中に答えはあります。皆さんが合格することを心より望んでおります。

<私からのメッセージ>

私は朱雀高校には第二順位で合格しましたが、この度大学に合格し、卒業を控えている私にとって第一順位

に合格するよりもよかったと思えるほどたくさんの思い出ができました。高校のクラスメイトは仲が良く、文化祭で団結したときのことは忘れられない経験となりました。受験期の際も進路指導部、担任の先生に良くしていただきました。最初は小学校、中学校にはなかった進路指導部という空間に足を踏み入れるのにとても緊張しましたが、受験期には相棒のような存在になりました。担任の先生も進路指導部の先生も私のことをしっかりと見てくださり、最後まで信じてくださいました。

「友達、先生、先輩、親に相談しながら自分のペースで」

京都府立大学 文学部 日本・中国文学科

高校一年生…進路のことは何も考えず、学校の勉強(テスト前)だけしていた。あとは小テストとかの勉強ぐらいしかしていなかった。休日は部活と友人との遊びばかり。成績と相談して指定校推薦でどこか行こうかな、くらいしか考えていなかった。オープンキャンパスも適当に行っていた。

高校二年生…私は具体的な将来の夢がないから、自分がしたい、好きな学問がある大学に行こうと思った。オープンキャンパスに行ってみて、志望校は決定した。2年生の10月から塾に通い始めた。部活は続けていたが、少し遊ぶ回数を減らした。習い事も続けていた。

高校三年生…部活をやめ、塾と学校と家の行き来。月一で遊んでいた。受験直前で習い事は休んだ
勉強法…地下鉄通学だったから、通学時間で勉強。朝型だから毎日5時に起きて勉強していた。補習はとってから後悔しないように、絶対に担任の先生や進路指導部の先生に相談したほうがいい。自分に合った勉強方法を見つける。合っていなかったら速攻でやめる。何でも早めに先生に相談していた。(進路の決定、未定、勉強法、問題集など)高校三年生のとき、朝早く学校に来て模試の解説をしてもらっていた。小論文は進路指導部の先生にみっちり見てもらっていた

参考書…書店で売っているものは漫画と違って封はされていないから、自分がやりやすそうなやつを自分の目で見て買う！(先生におすすめを聞いて、でも実際に見てみて何か違う、と思ってアドバイスを全部無視して違うものを買った)

その他…自分の志望大学に行った先輩と連絡と取って、2回ぐらい話を聞いた。学科は違ったけれどリアルな話が聞けた。

アドバイス…基礎は本当に大事。どれだけ頭がよくなっても基礎を怠ったら終わり。過去問は本番の3ヶ月前ぐらいにし始めるといいかも。(自分はそうだった)受験は何があるか分からないからあきらめるなー！！
朱雀高校のいいところ…なんと言っても先生との距離が近くて相談がしやすいところ。担任の先生、教科担当、進路指導部の先生に何でも聞けばいい

大切なこと…絶対に一人で悩まず、友達、先生、先輩、親に相談しながら自分のペースで考えればいい(早めのほうがいいかも)

「工夫を凝らした学習法」

京都橘大学 総合心理学部 総合心理学科

私は指定校推薦で京都橘大学総合心理学部総合心理学科に合格しました。私が進路を決めた時期は3年生に進級してすぐぐらいです。

大学を志望することになったきっかけは、2年生の夏の三者面談の時に、大学を薦められたことです。

1,2年生の頃は専門学校を志望していましたが、元々心理学に興味があったこともあり、心理学部のある大学も視野に入れてオープンキャンパスなどに参加していく中で、大学に進学したいという気持ちが大きくなりま

した。そこで今までの成績を活かして受験できる指定校推薦という受験方法を選択しました。

大学に進学したら、心理学の中でも特に発達教育領域に力を入れて感情の動きや思春期の子どもたちの心情の変化について詳しく学んでいきたいと思っています。また、学業だけでなくサークル活動など、自分の興味があるものに積極的に取り組んでいきたいです。

将来の夢について、大学の面接の時にも聞かれましたが、私はまだ将来の夢が決まっていません。ですが、オープンキャンパスに参加したときに大学の講師の方が「心理学を学んでいくと様々な物事に触れることができるから、その中で夢を見つけることができるよ」とおっしゃっていたので、私も心理学を通してなにか夢を見つけていきたいなあとと思っています。大学では、今までより視野が広がる活動が多いので、私と同じようにまだ夢が決まっていない人は、一度大学を考えてみてもいいんじゃないかと思います。

次に、私の学習方法についてお話しします。

授業内では板書だけでなく、先生が口頭で言ったことで大切だなと思ったらメモを取るようにしていました。また、ノートやプリントを作る際には、あくまで自分が見やすい、自分が見て一番分かりやすいものに仕上げることを心がけていました。授業の理解度は、どれだけ先生の話聞いていたかが重要だと思うので、私は眠たくなったらメモを取ったところにイラストを書いたりしてペンを動かして目を覚ましていました。そうすると、ノートも見やすくなるし、目も覚めるので一石二鳥です。授業中、もし眠たくなったらやってみてください。

私は塾には通っていませんでしたので、テスト勉強などもすべて自分に合った方法を見つけて勉強していました。私がやっていた対策としては、テスト範囲分の教材を、対策プリントやノートにすべてまとめてから勉強するようにしていました。おすすめのまとめ方は重要語句をカッコ抜きにし、その中をオレンジか赤色のペンで書き、赤シートで隠して覚える方法が個人的に一番わかりやすくておすすめです。日本史や政治、経済など暗記科目はすべてこの方法で取り組んでいました。暗記科目以外の科目は、科目ごとにあった方法を取るのが頭に入りやすいです。例えば現代文なら教科書を読み込んだり、数学なら公式を頭に入れていろんな問題を解いたりしました。英語なら声に出して読むなど、それぞれに応じた、自分がいちばん理解できる頭に入りやすい勉強方法を模索すると思います。また、私はすごく負けず嫌いなので、いつもクラス内で、もしくは学年で最高得点を取ることを目標に取り組んでいました。そういう何か目標を立てて取り組むとモチベーションにもなるしいんじゃないかと思います。あとは、テストの点数や学力が同じぐらいの人と点数対決をするのも、対抗心で勉強が捗るのでおすすめです。

指定校推薦は高校在学中の成績や内申点のすべてが必要

<1年生に向けて>

今から指定校推薦を狙っている人は、進級したら勉強が難しくなっていくと思いますが、これからも気を抜かずに勉強と向き合うことが本当に大事になってくるので諦めずに取り組んでください。今、努力したら後に繋がって生きてくるのが指定校推薦のいいところだと思うので、粘り強く頑張ってください。

また、部活動や資格など自分のアピールポイントを活かせる行事や活動に参加しておく、後に役立つことがあると思います。私は朱雀高校の演劇部に入りたいとここを志望していました。演劇部だけでなく、どの部活も活発に活動し、生き生きとした姿が見られるところが朱雀高校のいいところだと思います。また、普段の生活の中でも各々自分の得意なことを活かせる場面がたくさんあります。学校行事などでも、学年関係なくみんなで盛り上げられるので、高校生活の思い出がたくさんでき、朱雀高校に来てよかったなあとと思っています。

<2年生に向けて>

指定校推薦は3年生の成績も必要になります。指定校枠を取りたい人は、今まで通りの継続がとても大事です。しんどいかもしれないけど、指定校推薦という方法は、過去や今努力した分が、後に繋がってものすごく生きてきます。

「こうすれば突破できる！受験に向けた本気の努力」

龍谷大学 文学部 日本語日本文学科

私は元々公募制推薦から一般入試までのすべての機会を受験しようと計画していたので、まず、一般入試まで受けるにあたって何の教科を勉強する必要があるのかを調べました。

古典や第三の選択科目に何が適用されているのか、その上で併願校も考えました。これらは2年生の間に整理して自分で理解しておいて、3年生の時間はすべて問題を解く、新しい知識を履修する、勉強することに時間を割けるようにしました。

3年生の時はまず、公募制推薦に向けて、あるのならば公募制推薦用の赤本を試し、過去問を試し、過去問を過去問データベースで調べ、プリンターで印刷し、はじめはカウントアップで、慣れたらカウントダウンで測り、時間内で解き終わられるか、そして自分の解答を気になるところだけでも見直せる時間を取れるかを自身で実験・体験し、現在の状況を把握しました。

私は第三科目で日本史を選択しましたが、学校の授業内だけでは1年しか履修できず、全範囲カバーできないと分かっていたので、書き込み式の教科書や塾の先生に教えてもらうなど、間に合わせるためには、と試験日から逆算してこの時点までにはこれを一度通っておく、完璧にしておく最終ラインを決めて勉強していました。

参考書は一問一答や図式解説、たくさんの種類があります。ネットで評判を調べるのもいいと思いますが、直接書店に行って、中身を広げて比較し、自分がわかりやすいと思ったものを選ぶことをおすすめします。(おすすめの参考書:英単語リープ緑/scramble/古典単語315/でるとこ古典文学史/文学史サブノート/諸説日本史B/日本史B一問一答/ポラリス/レベル別問題集など)

英語に関しては、毎日単語、エンゲージのような熟語集を一冊分見ること、もしくは単語なら100単語ずつ、熟語集などは1単語ごとなどに目を通すことを徹底してください。本当に丸一冊覚えるぐらいにまで完璧にしてください。

単語に関しては、語源からイメージを引っ張ってきた方が覚えやすい人もいません。3年生にこれをするのは時間の無駄です。他の演習に費やす時間に充ててください。そして、間違えずに逆にこの単語だけは絶対に覚えた、と思えるぐらい周回しましょう。そして、慣れるためにも古い過去問でも構わないので、英語長文を読解チャレンジしましょう。1日1つでもいいので文章量に慣れることから始め、単語帳には載っていないけれど、よく出てくる単語がある、全く知らない単語がある、と気が付いたら、電子辞書で調べたり、そこにメモをつけたりしましょう。「神経」という名詞の「neuron」や「意識」の「consciousness」などが例です。知らなかったことは仕方が無いので、今回知ることができたから次は間違えないという意識を強く持ち、次の意識を持ちましょう。

国語は現代文と古典2つの教科でした。まず、現代文は読み慣れることです。これは日本語の理解ではなく、学校特色の傾向を自分で理解することです。本当に傍線部の前後だけで判断していいのか、少し推測で補わなければならないのか、本文の逆を考える必要があるのかを考えなければいけません。例えば、本文では「ないはずはない」となっているとき、選択肢の「ある」が正解になるパターンがあります。また、漢字の読み書き、「アイロニカル」など、カタカナ語を日本語に戻すことができるか、意味がわかるか、なども重要です。

古典に関しては、古典単語をどれだけ理解しているかがものをいいます。否定、極端表現、仮定など基礎固めでどうにでもなる教科だと思います。すり切れるまで単語帳を見てください。活用、接続、例外のう変活用、な～そ、などの副詞のはたらきにも注目して暗記してください。それから、リード文は必ず読むこと、話の流れが理解できれば思いの外、すんなりと読めるはずですよ。例外として、源氏物語ですが、YouTubeでざっくりと解

説などがあるので見て、登場する女性の名前と特徴を覚えていればとっかかりやすいと思います。私のおすすめはオリラジの中田さん(芸人さん)の動画です。

日本史は知識量が勝負です。どれだけ覚えているかが一番大切です。覚えているだけで点が取れるので、早いうちから手をつけて一つでも覚えていることを増やし、何度も何度も繰り返し復習してください。背景知識や、戦いの勝敗、両側の知識があると、その後の時代にも適用しやすいので、解説まできちんと見て、知らないことを一つ一つ潰していくと自信にも繋がるし、ど忘れしても引っかけがいくつもあると、思い出しやすいです。図表は、どんな書き方か、内容はどこか、見たことがあるかどうかで決まると思います。知っていたらそのままわかるほどなので、本当に繰り返しが大事です。

入試直前は、自分の中で無敵のメンタルを持って会場に行くことです。これだけ勉強してきたんだから、平常心で。隣を見て焦るのではなく、それを横目に、余裕で復習を始めるぐらいの心を持っていかないと飲まれると思います。

それ以前の勉強をしている時でも、うまくいなくて泣きそうになるかもしれません。そんな時は悔しさを出して泣き出してもいいです。しかし、それを次の日に持ち越さないことがもっと大切です。そして、引きずらないためにも、深夜の勉強はいますぐに絶対にやめてください。1時になったら何が何でも布団にはいって目を閉じる。そして朝ご飯はお昼を食べる前に絶対に何か口に入れること。これだけは守ってください。親と言いつても、友達がどんどん受験が終わっていった残されている気がしても、最後まで貫いて勉強しようと続けていることが今の自信を表していると思うので、最後まで諦めずに、自分を信じて頑張ってください！

「受験を終えた今、思うこと」

京都産業大学 現代社会学部 現代社会学科

この先、受験を控えている皆さんには悩みや不安もあると思います。

ここには、私の受験に対する根本的な間違いと、受験において重要なことなどを書こうと思います。

私は、そもそも努力を怠る類の人間でした。中学生の頃はその日に出された課題もやらず、塾で出された簡単な復習問題もやらない。まして、夏休みの課題など、好きな美術の課題でさえまともに終わらせたことはありませんでした。

そんな私も高校生になり、大学受験について考えなければならなくなってきました。しかし、決断も苦手なために、3年の夏ごろまで志望校の決定を先送りにし、受験に必要な勉強も先延ばしにしていました。これは、およそ最悪の状態です。志望校の決定が遅れると、その分必要な勉強を始めるのが遅れてしまいます。何より、各教科において到達すべき目標が不明なので、何をしていたかわからなくなります。私の場合は、「一般入試よりも早い公募推薦で滑り止めと第1志望を受け、第1志望に受からなければ一般でも戦う」と考えていたので、現国、古典、英語、日本史が必要になりました。しかし、第1志望決定の遅れが影響し、何をを目指すでもなくそれぞれ目標のないままに勉強を進めていました。入試の問題は各学校で特徴が出ます。受験勉強では、基本的に各学校の過去問を解いて、その特徴に自分を慣らしていきます。そのために志望校決定の遅れは、ほかの人が2年ほど積んだ経験に、より短い時間で挑むことになり、合格の可能性が低くなります。よって、志望校は高2のころには決定しておき、早期から対策を始めておくことが重要です。

さらに、私はオープンキャンパスに行くことを怠り、入試の際に初めて学校を訪れるということになりました。学校の雰囲気や経路も志望校を決める際には重要です。そのため、「思ってたんと違う」や、「行き方わからん」を避けるために、オープンキャンパスは必ず一度は行くべきです。

月並みかもしれませんが、どうせどの受験にも使うのだから、早くから少しずつでも英語の勉強を進めておくことをお勧めします。文法なんて難しいことは後に置いておいて、根本的な単語を理解していくといいと思いま

す。単語が分からない文を読むことは日本語であっても不可能です。これは、古典や地歴公民の社会にも通じることです。

「続けることが大事」

龍谷大学 社会学部 総合社会学科

私は龍谷大学に進学します。受験勉強においては家で勉強しなかったもので、私はほとんど学校や塾でしか勉強していませんでした。それでも龍谷大学に合格できたことには 2 つ、やって良かったことがあります。

まず 1 つ目に、英語に関しては授業内容を覚えるくらいに予習復習をしたことです。私は 1 年次から英コミの本文を別ノートにすべて写して日本語訳し、わからない英単語もひとつひとつ調べるのが習慣づいていました。それは自分の英語力を確かめることに役立ち、授業時に自分と解釈が違った場合は自分が見落としがちなことや、勘違いしていることを見つけることにも役立ちます。それにより授業内容を覚えることは容易になり、テスト前に何時間も勉強しなくても 7、8割ほどの点数はとれるようになり、他の科目に時間を割くことも可能になります。また私は、予習の時は「直訳」し、復習の時は「意識」していました。単語ひとつひとつの意味やニュアンスを確実に入れた直訳は文構成を理解することを助け、文法への理解も深まります。文の内容を捉える意識は長文読解のスピードを速めることや、文意を理解するために必要な情報をすばやく入手することを助けます。

2 つ目のやって良かったことは、面白い授業を見つけるということです。私の場合は日本史と倫理がそれでした。日本史も倫理も授業では「考える時間」があり、歴史や思想の論理的な過程を考えることができたことが私にはとても楽しい時間になりました。面白い授業は学校で勉強するモチベーションにつながりました。

また、やらなかったことについて、やれば良かったことは、苦手を克服することです。私は国語が本当に苦手で安定して点をとることは最後までできませんでした。国語の勉強は週に 1 回、参考書の問題を解いて解説を見るだけでした。正直に言うと、学校のテストは授業を受けているだけでそれなりの点数は取れるので、国語に関しては参考書を用いて様々な問題に触れたり、本を読み、長文を読む習慣をつけることが大切だと思います。私はそれらをやらなかったために、英語で引っ張ってギリギリでの合格になりました。もっと安心して合格をもらうために、英語や国語、数学、地歴公民、必要な科目のそれぞれの点数を高くキープすることが大切だと思います。

時々、もういいやと思ったりやる気がなくなったりすることがあるかと思いますが、つづけることが大事なので何事でも諦めずにやり遂げてください！

「絶対にあきらめない」

京都産業大学 法学部 法律学科

私は一般入試中期日程で京都産業大学に合格しました。受験勉強を始めたのは高 2 の 3 月ごろからです。それまではまともに勉強をしたことがなく模試の成績はどこの大学も行けないようなひどいもので、どのように勉強すればよいか全く分からない状態でした。そのため親と相談し塾に入り、参考書を購入して勉強しました。
〈科目別勉強法〉

英語→ほぼ 0 からのスタートで長文も文法も全くわからん！！という状態だったのでとりあえず単語を覚えて少しでも英語に耐性をつけることから始めました。単語をある程度覚えたら同時並行で文法も学習し、夏休み明けぐらいに長文も読み始めました。

国語→現代文は設問をみてどんな内容が書かれているのかを大まかに予測してから文を読むことを意識しました。古文は英語と同じようにまずは単語から始めて次に文法→長文というように勉強しました。

世界史→用語集を一通り読んでから赤シートで隠して確認していました。

自分の受験経験を通して志望校合格のために必要だと思うこと

- 1.勉強の1日ごとの計画を立てた方がいいです。ノルマを決めて、そのノルマが終わればあとは好きなことをしてもいいので意外と継続して勉強できます。
- 2.少しでもいいので復習してください。自分は復習を面倒だと思い怠ってせっかく学習したことをほとんど忘れてしまってまたそこを覚え直さなければならなくなっただけで今思うと復習する方が後々楽になると思いました。
- 3.英語は理系でも文系でも使うことになるし英語の配点が多い大学もあるので毎日やっておく方がいいです。英単語・英文法のインプットばかりでつまらなくて、全然覚えられないかもしれませんが後でじわじわ成果が出てきます。英語はやればやるだけ伸びます。
- 4.集中出来ないと思ったらその日は早めに寝てください、22時ぐらいに寝ると次の日はスッキリすると思います。
- 5.最後です、絶対に諦めないでください。受験生は最後の最後まで伸びます！！実際私は冬休みまで6割しかできなかった英語が前期入試2日前の過去問で8割近く取れました。しかし前期は落ちて、絶望しながら中期試験を受験し試験中は集中できなかったためもちろん手応えも無く、「絶対に落ちたな」と思いましたが合格していました。あの時の感覚は今でも鮮明に覚えています。落ちていていると思っている時に合格の文字を見たときは困惑しながらもとてつもない達成感に満たされました。

私が合格できたのは先生方や周りの人の支えのおかげだと思います。周りに人の助けがなければ受験勉強を継続できなかったかもしれません。受験勉強は継続が大切なのでやる気が出ない日でも1分でもいいので何かしら勉強してほしいです。受験期は体調が悪くなったり成績が思うように伸びなかったりと精神が不安定になりやすいので適度に息抜きをして睡眠時間も確保してください。みなさんが志望校に合格できることを願っています！

「大切なのは悩むこと」

東洋印刷株式会社 生産管理

私は就職試験の日まで悩む、ということをとくさん重ねてきました。それは自分のことをよく分かっていなかったからです。

私ははじめ、身体の不自由な祖父母のお世話をしていた経験を生かそうと思い、介護職を志望していました。しかし、先生や親からは「コミュニケーションを取ることが苦手なら難しいのでは」と言われ、考え直そうと悩んでいるうちに、自分はどんな人なのか、何を仕事に活かせるのか分からなくなっていました。

そこで、自分に合う職業を見つけ、より詳しい自己分析をするために製造、飲食、介護など計7社に会社見学へ行き、様々な仕事について知ることにしました。そして志望先を東洋印刷株式会社に決めました。決め手となったのは業務内容でした。製品の検査が主な業務内容だったので、自分の慎重な性格を活かせると思い志望しました。

志望先が決まってからは、詳しい自己分析と面接練習の毎日でした。高校三年間で自分は何を培ってきたかまとめたり、客観的な意見も取り入れようと、親や友人に私はどんな人か聞いたりしたことから志望先の会社にどのようなメリットをもたらすことができるか考えました。面接練習では恒に言葉遣いに気をつけることはもちろん、質問に対して長すぎず、具体的に答えることを心がけました。このように悩むことを重ねた結果、試験

当日は落ち着いて試験を受けることができ、内定をもらうことができました。

就職活動で大事なものは、たくさん悩むことだと思います。長い間つきあっていくかもしれない仕事を見つけるために会社見学や自己分析を重ねて考えることが大切です。そうすればきっとやりたいことが見つかるはずです。

「頑張れば頑張るほど、返ってくるものが増える」

株式会社 志津屋

私が就職をきちんと意識し始めたのは、高校二年生になってからでした。昔から、料理などに興味があり専門学校も考えていましたが、本当に専門学校でいいのか悩み始め、両親や先生方と話をし就職することにしました。

進学するにしても就職するにしても成績は大事なもので、毎日授業に真面目に取り組み、提出物をきちんと出すことが大切だと思います。また、毎日遅刻、欠席をせず学校へ行くことがとても大切だと思います。特に就職して働くということは、自分で考えて行動すること、行動に責任を持つこと、時間やルールを守ること、報告、連絡、相談がしっかりできることが求められるので、今のうちから自分の行動を見直し改善できるところから改善していくべきだと思います。

就職する前にまずは自分の好きなものややりたいことは何か考え、その上で本当に自分のやりたいことを決め、そのためには何が必要なのか事前にしっかり調べておくことも大切です。

就職試験前は面接練習をしっかりやりましょう。面接で自分のことを話したりすることが多いので、自分はどうのような人間なのか理解しておくことも大切です。私も最初の頃は全然上手く喋ることができなくて、たくさん悩んだり落ち込んだりしたけど、すべての質問に完璧に答えられるまで何度も練習することで自然に質問に答えられるようになれるので安心してください。特定の先生に練習を頼むのもいいですが、普段関わりのない先生に練習を頼むことも様々な視点でアドバイスをくださるので、さらに自分にとっていいものが見つかるかもしれません。

最後に、自分が頑張れば頑張るほど、返ってくるものが増えるし、自分の自信にも繋がると思うので、諦めず後悔しないように頑張ってください。

「当たり前のことはする」

高知県立大学 健康栄養学部 健康栄養学科

私が大学進学をするために頑張ったことは、当たり前のことはするということです。例えば、遅刻や欠席をしない・提出物は必ず期限内に出すなどです。遅刻や欠席をすれば、内申点に響くだけではなく、授業についていけなくなってしまうからです。また、提出物を出さなかったり遅れたりすると、テストの点数や授業態度が良くても評価が下がってしまいます。

定期テストでは、ノートやプリントに書いたことを穴埋め問題にして理解を深め復習しました。授業でただ板書するのではなく、先生が話していたことをメモして授業内容を思い出せるように工夫していました。2年生の数学のテスト勉強は、問題集を2～3回繰り返すことで良い点数を取ることができました。1回目分らない問題は、教科書やノート、答えを見て解き、2回目は間違ったところや分からなかった問題を解いて、時間に余裕のあるときには3回目テスト範囲の問題を初めから解き、全て何も見ずに解けるよう頑張りました。

受験勉強については、1・2年の頃はまだ行きたい大学やどの学部が良いのかははっきりとは決まっていなかったため、とにかく評定平均は 4.0 以上とることを目標に頑張りました。理由は、進学ができる大学の幅を増やし推薦で受験したいと思ったからです。推薦で合格することができれば、早く進路に対する不安を解消できると思ったからです。苦手な教科やテストの点数が低かった教科で自主勉強を評価してもらえる教科ではテスト勉強でしたことを提出し、それ以外の教科ではノート・プリントなどの提出物にメモをして提出点を上げられるようにしていました。受験する大学を決めたのは高校3年生の夏休みで、志望校を決定するときには親に相談したり、担任の先生が私の条件に合う大学を探してくださったりして決めることが出来ました。本格的に受験勉強を始めたのは夏休み後で、試験内容はプレゼンテーションと小論文だったので、志望学部の栄養や食の知識を増やすことを目的に週に1冊は食・栄養の本を読み、原稿用紙にまとめや感想を書くことを担任の先生が提案してくださり、それをやっていました。小論文は、国語表現で何回も書いていたので、それまで文章をたくさん書くことは苦手でしたが、練習していくうちにコツや書き方が分かり、受験のときにはあまり苦戦せずに済みました。

以上より、進学するために大切なことは、今自分が出来ることはさぼらずに行い、進路を決めるときには親や先生に相談することだと思います。

「大切にした4つのこと」

佛教大学 歴史学部 歴史学科

この度、私は幸いにも第一志望の佛教大学に合格することができました。これから、私の体験、大切にすることを4つ書いてみます。

1つ目は、高校生活で大切にしていたことです。私は特に成績を大切にしていました。指定校推薦や総合型選抜を視野に入れたとき、「評定平均は 4.0 以上あった方がよい」と学校や塾の先生にアドバイスをいただきました。実際に、私は総合型選抜を利用したのですが、受験資格に評定平均 3.8 以上という条件があり、成績を大切にしていた良かったと思いました。成績を上げるにはテストの点も重要ですが、提出物をしっかり提出することが1番です。

2つ目は、進路希望を決める上で大切にしたことです。まず、自分は何が好きなのか、何を学びたいのかを考えました。考えた末、授業で面白いと感じ、もっと学びたいと思った歴史を勉強するため、大学進学を決めました。

3つ目は、面接練習の大切さについてです。面接練習は絶対にしておいた方がいいです。本番の方が何倍も緊張しますが、一度しているのとしていないのとでは、大きく変わると思います。私の受けた大学の面接内容は他の大学とは異なる質問内容でしたが、それを先生に事前に伝えておくことで大学の出題傾向に沿った質問をしてくださいました。自分の直した方がよい点などアドバイスしてくださるので、必ず役に立ちます。

4つ目は、自分の経験からのアドバイスです。ありきたりですが、勉強は本当に大切です。私も勉強、特に英語が苦手です。苦手な教科を利用せずに受験できたことは運があったとしか言えませんが、英語は大学でも必要な教科なので、しっかり勉強してこなかったことをとても後悔しています。「2年生から・・・」「3年生から・・・」ではなく、日々の授業を皆さんには大切にしたいです。

総合型選抜での大学受験を考えている方は、自分の受ける分野を深く理解しておくことが大切です。その分野について学んできたことの復習や、いろんな視点から見てみることも大切です。小論文も同じです。どれだけ理解しているのかを見られるテストなので、復習と大学の過去問を解き直すことが大切です。先生にお願いすると添削もしていただけたと思います。

以上、私のつたない体験と大切なことを書き連ねました。少しでも参考になればうれしいです。皆さんも、頑張ってください。

「何度もやって体にたたきこむ」

近畿高等看護専門学校 看護学科

自分は専門学校志望ということで看護を少し混ぜつつ専門を中心とした話をしていきたいと思います。

まず、進学先決定時期についてです。自分は高校2年生の夏あたりで進学先が決まりました。そこで進学先を決めるにあたって、きっかけになったもの、それは実際に将来やりたい仕事を一度体験してみることです。いわゆる職場体験に似たものになります。職場体験をすることで働いている人と直接関わる機会ができ、そこで先輩方の就職先決定までの実際に体験してきたストーリーを詳しく聞き、知ることができます。オープンキャンパスよりも実際に卒業された方が就職されているため、より確かで、進学先決定に向けて職場体験が一番きっかけになると自分は思います。職場体験を通して先輩方からのおすすめの学校のアドバイスを貰った後は、興味を持った学校のオープンキャンパスに行き、カリキュラムやその学校にしかない特徴を知り、より興味を抱きかけになるかもしれません。次に専門学校生活への抱負についてです。自分は看護の専門学校ということで、将来看護師の仕事に就きたいと思っています。そこで、看護師という仕事は主に体力が必要だったり、命に関わるため技術を細かく磨く必要があります。なので学校生活を送るにあたって、体力作りを行うことや、実習を中心に頑張っていると思っています。

次に学校生活についてです。自分はよく緊張してしまう性格であり前に出るようなことはして来ませんでした。だけど、頼まれたことは、なるべく積極的に言うようにしていました。この積極的に行う力は入試の際の面接で答える時や将来の仕事に生かせると思い、今まで行ってきました。

次に学校の普段の学習についてです。自分の得意な教科は数学です。数学で高得点を取るコツとして、第1に公式を覚えることになります。まず初めに公式を理解していないと、そもそもの解き方が分からず、一歩目すら到達できないからです。そして、第2に何度も似たような問題を解くことです。ただ公式を覚えるだけだと、公式のどこにどの数字を当てはめればよいのかが分からず、解くのにかかる時間が長くなってしまいます。さらに時間が過ぎていくうちに公式を忘れてしまうことにもつながります。このように公式を覚え、何度も似たような問題を解き、体に覚えさせることが高得点を取るための学習法になります。次に進路決定に向けて何をしていたかについてです。主にオープンキャンパスをやっている専門学校を片っ端から調べました。そして学校一つ一つの教育理念やその学校にしかないことを詳しく文にしてまとめました。そうすることで、自分の将来の夢にあった学校を導き出すことができます。

次に入試に向けた私の学習法についてです。一つ目は記述問題です。専門学校の記述問題は主に基礎的な問題しか出てきません。例として一番よくある国語の場合は熟語の構成、接続語の役割、比喩法などの形を知る力や読解力・語彙力などの文章を読み取る、書く力が問われます。自分は国語が一番苦手なので、まず熟語の構成と接続語の役割と比喩法を中心に覚えました。そして、問題の作りは専門学校によって違うため、自分の受ける学校の過去問を何度も解いて、文章を読み取る力をつけました。

2つ目は面接です。面接をする前の準備段階として一通りの答えとなる文を作ってくる人がほとんどだと思います。ですが、実際面接で答える際は作った文をそのまま言うのではなく、アドリブで伝えられるように練習することが大切です。何故かというと、予想できないような質問が来た時に作った文がなく、詰まってしまう、相手に悪い印象を与えてしまうからです。なので、作った文の内容を完全に理解して、その時の質問によって形を変えられるようにアドリブの練習をしておくことが大切になってきます。実際に自分も面接を受けた時に共感を得ることができたので、そこもポイントになります。

最後に朱雀に来てよかったと思うこと、特に伝えたいことについてです。朱雀高校は進路実現に向けて、1年生では大学、短期大学、専門学校、就職のそれぞれの特徴を理解する場、2年生ではオープンキャンパスを調べる時間、志望理由書の的確なアドバイス、計画を立てること、3年生では最終決定を先生方と一緒に細かく考えるといった進路に対してすごく熱心であるところが朱雀高校のいい所だと思います。

特に伝えたいことは、面接では作ったきれいな文ではなく、少しアドリブを混ぜた方が、より自分の思いが伝わるということです。

「自分を信じて頑張ってください！きっと大丈夫！」

京都女子大学 発達教育学部 児童学科

私が受験生活で大切にしていたことを3つ記していこうと思います。少しでも参考になると嬉しいです。

1つめは、自分にごほうびをあげることです。私は勉強が嫌いだったので、毎日勉強することはとても大変でした。そのため、一日の最後に押しの動画を見たり、模試を受けた帰りにお菓子を買ったりして、自分に御褒美を用意していました。小さなことでも自分を褒め、ごほうびをあげてください。

2つめは、時間を決めて勉強することです。この時間は、必ず自分が集中できる時間にすることが大切です。私は長時間ずっと勉強し続けることが苦手だったので、20分1コマで、1日10コマ(平日)していました。適度に休憩が取れて、また勉強しているときに集中が切れてしまうこともないので、私にはとても合う勉強法でした。

3つめは、自分を信じることです。私はこれが一番大事なことだと思います。受験生活の中では比べられる情報がたくさんあります。周りとの学力や勉強時間の差だけではなく、インターネットの中にもたくさんあります。例えば、Instagramの中には「〇〇時間勉強したのに全落ち」「合格する人と落ちる人の違い」「〇〇をしていない受験生はやばい」といった内容の投稿がたくさんあります。私はこういった情報を安易に信じないことが大事だと思います。受験が近づいてくると、今信じていなくても、そういう情報で不安になってしまう可能性があります。ですから、極力インターネットの情報は見ない方がよいと思います。私は高校2年生の冬に、Instagramやツイッターは消しました。そして、志望校を決めるときも、模試の結果を見た時も、受験当日も、自分を信じてください。自分の力を信じて勉強に取り組めば、きっと合格できると思います。

以上が、私が受験生活で大切にしていたことです。これから始まる受験生活、自分らしくめいっぱい頑張ってください。また、残りの高校生活も全力でたのしんでください。そして、勉強してください。勉強だけに集中できる今の時間は貴重です。友達に愚痴りながらも、休みながらもいいので、自分の行きたい進路に進めるよう、自分を信じて頑張ってください！きっと大丈夫！

進路を考える上で「好き」を大切に

京都芸術大学 舞台芸術学科 演技演出コース

私は進路を考える上で「好き」というのは大切だと思う。私がそう思うのには理由がある。高校を出ると高校時代よりももっと自立していかなければならない。それに反して高校を出ると、壁にぶつかったり、挫折したりすることが多くなる。挫折した時に立ち直りやすいかどうかは、そのことが好きかどうかが大きく関わってくると思う。また、挫折しないとしても、専門学校なら2年間、大学なら4年間、何かを続けるモチベーションの維持には、好きだということが大切だし、有意義な学生生活に繋がると思う。

私は高校3年間演劇部に所属した。最初は高校で新しいことに挑戦したいという気持ちで始めた演劇だが、その魅力に魅せられて好きになり、3年の卒業ギリギリまで参加していた。私の青春のほとんどは部活だと言え

るくらい部活動と演劇が好きである。そんな自分でも嫌になったことや軽く挫折したことはある。でも演劇そのものが好きだから、投げ出そうと思わなかったし、演劇をもっと勉強して、それを職業にして一生やろうとしている。演劇のおかげで私の高校3年間はとても有意義なものになった。

「好きなことを職業に～」とは簡単に言えるが、いろいろな理由で実行できないことがあるだろう、実際私も親から、「大学はお金がすごくかかるから、そんなにすぐに OK は出せない。ちゃんとしたビジョンなりを提示して納得させてくれ」と言われて進路を考え直したりした。けれども自分でいろいろなことを考え直した結果、自分が一番のびのびと精一杯やって後悔なく輝けるのは演劇しかないと思い、その熱意を親にプレゼンした。その結果、受験を許してもらえて、何とか大学に通わせてもらえることになった。親を説得しようと動けるのも、親に説得する時に熱意が伝わるのも、「好きなこと」だと私は思う。

また、学力試験以外にも、面接や小論文、体験授業を受けてプレゼン等、受験の方法には色々ある。自分の熱意をアピールできる形式もあったりする。そういう形式であれば、少しでも好きな方が多く語れるから、好きであればあるほど有利になる。

最後に、きれいなことで非現実的かもしれないが、人生は一回切りで寿命はとても短い。そんな短い寿命のなかでも、思った瞬間にものすごい勢いで動ける時間はもっとみじかい。もしかするとそんな短い寿命を全うできずおわってしまうかもしれない。だからこそ、進路を考える上で「好き」はとても大事だと思う。

「よく調べること、相談すること」

藍野大学 医療保健学部 作業療法学科

私は大学選びでよく調べるのが大切だと思います。はじめは京都の大学のオープンキャンパスに参加していましたが、今ひとつピンとこず、なりたい職業から大学を調べることにしました。私の将来なりたい仕事は作業療法士という仕事で、この仕事に就くには、作業療法学科のある大学か専門学校に行き、国家試験に合格しないとダメなことを知りました。そこで、作業療法学科があって、家から毎日通える距離の大学のオープンキャンパスにはほとんど全て行きました、そこで感じたことは、同じ学部・学科でも雰囲気全然違ったり、作業療法士の資格以外にも取れる資格がある大学があったりと、大学によって全く違うということです。

受験するときにやっておいて良かったと思ったことは、部活と委員会を3年間続けたことと、時間をかけて調べたことです。志望理由書や面接で、自己アピールをしないとイケなかったのですが、高校生活のことをそのまま言えたのが良かったです。また、いろいろな大学がある中で一つの学校に絞るのは難しかったのですが、時間をかけて調べたり、オープンキャンパスで色々なことを色々な人に聞くことで、少しずつ自分の行きたい学校を見つけたことができました。

受験勉強でつまづいたことは、普段の勉強を疎かにしていたせいで、基本が全然できていなかったことです。過去問を解く前にすべきことが多すぎて、受験勉強が全く進みませんでした。受験勉強は早めに開始して、分からないことがあれば教えてもらったりしながら克服しておく必要があります。

アドバイスできることとしては、色々な人に相談することです。私は他の学部にも興味があって迷っていましたが、色々な人に相談して意見をもらったことで、新たな選択肢を見つけ、進路を決定することができました。志望理由書を書き始めてから出願するまで、夏休みに毎日先生に見てもらい、アドバイスをもらうことを続けて合格することができました。

色々なことで悩んだり、分からないことがたくさん出てくるとは思いますが、一人で悩むのではなくて、先生や親や友達に相談することで、アドバイスをもらえたり、助けてもらったり、視野を広げてもらったりできます。そうすることで新しい選択肢が出てきたり、気持ちが楽になったりするので、相談することが大切だと思います。

「早くから受験勉強を始め、2年生で基礎固めを」

秋田大学 教育文化学部 理数教育コース

私は2年生の秋から受験勉強をはじめ、主に定期テストの勉強を中心にがんばりました。また、数学専攻の学部に入りたかったので、黄チャートの数学ⅠAから復習し、3年生の夏休みには、1日に45ページずつ進めて、数ⅠAから数Ⅲまで3冊解きました。そのおかげで、数学の基礎が身につく、夏休み明けからは私立大学の過去問に手をつけることができました。公募制推薦で私立大学に合格してからは、本格的に共通テストの過去問を解きました。私は理科と地理が苦手だったので、放課後に学校で補習をしてもらったり過去問を解説してもらったりして対策しました。また、3年生になるまで古文単語を全く勉強していなかったため、古文が読めず大変でした。ぎりぎりまで古文単語は完璧に覚えられなかったです。古文単語は英単語に比べて量が少ないですが、共通テストや私立大学文系を受験する人は、2年生のうちから勉強しておくべきだと思います。

英語に関しては、文法や単語は1年生の時から定期テスト対策としてかなり勉強していたのですが、大学受験の英語は単語の意味が軽く分かるくらいでは対応できませんでした。3年生になると、数学などの勉強が重くなるので、英語は2年生までに固めて、3年生では学校の授業をしっかりと聞いて頭に入れることが大切だと思います。共通テスト対策として効果的だった勉強法は、速読とスタディサプリ English です。共通テスト(リーディング)は長文しか出ないので、時間との勝負になります。文法が固まり、長文が読めるようになったら、声に出して早く意味を理解しながら読む練習をすると、読むスピードが変わってくると思います。リスニングは、3年生の冬休みにスタサプ English で共通テスト対策をしたことで、本番では今までで一番良い点を取れました。けれども、もっと早くから対策していれば、もっと高得点を狙える科目だったので、後悔しています。英語は文系でも理系でも必ず勉強しないといけないし、覚えることも多いから、コツコツ学習がいちばん身につく教科です。

また、私は YouTube やスタディサプリを活用して勉強しました。教育系 YouTuber の方は共通テスト対策などたくさんの動画を出されています。私はお風呂でよく見ていましたが、気楽に勉強できて身につくので、かなり効果があったと思います。

早くから受験を意識して勉強し、2年生の間に基礎を固めることと、合格に必要な力をどうやってつけるのか対策を考え、実行していくことが大切だと思います。

「あなたが頑張れば、何にでもなれます」

京都府立大学 文学部 欧米言語文化学科

親や先生の反対のなか朱雀高校への入学が決まったときは、自分の進路がどうなるか不安で仕方ありませんでした。けれども、三年間勉強と部活を一生懸命やってきて、朱雀に入ったことを後悔したことはほとんどありませんでした。色々な人に囲まれた環境でちょっと怖いなど感じる人がいたり、合わないなど感じる人もいましたが、三年間自分のやりたいことを貫いた高校生活を送れていたと思います。

1,2 年のうちは部活に打ち込みながら個人的な表現活動もでき、勉強漬けになりすぎず楽しく過ごすことができました。進路を意識する時期になって先生と面談をしたときは、自分で無理だと思っていた目標を沢山の先生方に応援していただき、悩みの相談や補講の調整、小論文の練習等で本当に熱心にご支援いただいたのをよく覚えています。

勉強でも部活でも、高い目標に向かって頑張る生徒を応援してくれる学校だと感じています。朱雀に入学して、高い進路目標は持てないのではないかと思う人もいるかもしれませんが、朱雀高校の先生方は、生徒の頑

張りを無駄にしない最大限の努力をしてくださっています。あなたが頑張れば何にでもなれます。

「面接は自信をもって」

京都府警察官

私は面接のことについて話します。公務員試験に限らず、就職でも面接は一番だと思います。特に今回私が受けた京都府警察官は「人格」が重視されるので、一次試験の筆記試験や体力試験よりも最終試験の個人面接が一番大事だと思います。もちろん、一次試験の筆記試験や体力試験に受からないと個人面接もしてもらえないので初めも大切です。

筆記試験に合格すると集団面接があるのですが、京都府警の集団面接はとても変わっていて、そこでは志望動機や自己PRなどはいっさい聞かれません。答えのない質問をされます。答える内容よりも、そのときの態度を見られます。どんなことを聞かれても、だまったり下を向いたり、目を泳がせたり自信のない行動をしてはいけません。その答えがどれだけ間違っている、面接官に何を言われても、流されたり自信をなくしたりすることなく、堂々と自分の意見を貫き通す事が大事です。面接官は「答え」を聞くよりもそういった態度を見ているらしいです。

実際に私が集団面接で聞かれた質問は「動物園の飼育員だとしたら何の動物を飼育したいかと、その理由、家庭菜園をしたら何の野菜を育てたいかと、その理由」など予想も出来ない質問ばかりです。そして、いじわるな質問やいじわるな事を言われたりします。これは個人面接のときもそうでした。どんな事をいわれても、聞かれても、動揺したら負けです。

それと面接ではうそをついてはいけません。警察官はウソを見抜くプロなのですぐにばれてしまいます。ちょっとでも怪しいと思うとつっこんで聞いてきます。個人面接が終わったあとはすぐ手応えがありました。面接でうまくいったのは面接までに自己分析をしたり、友達や周りの人に自分がどんな人かをきいたりして自分をよく知る事が出来たからだと思います。

ぜったいに警察官になるという気持ちと面接官に自分を知って欲しいという気持ちを強くもってのぞめば自然と声も大きくなって自分の言いたいことを言えました。私は実際に警察官の方たちに面接練習をしてもらったりしてたくさんアドバイスをもらいました。面接は数をこなして慣れることが大切だと思います。

「将来どんな自分になりたいか」

一般財団法人 仁風会

私が自分の進路先を考え始めたのは高校3年生になってからでした。それまではそんなことを考えていませんでした。

周りのみんなは進路先について話し合ったりしているのに自分は何も考えてないことに焦りを感じ、本格的に考え出したのは3年生になってからでした。自分が何をやりたいか、どうなりたいかを考えた結果、就職することに決めました。そこからは自分のやりたい職種や自分に合った職場などを考えたり調べたりしました。その結果、自分に合った企業を見つけ、無事にそこで働けるようになりました。

そこで今進路のことで悩んでいる君！焦らなくても大丈夫！自分が何をやりたいか、将来どんな自分になりたいかじっくりゆっくりと考えるのだ！なんとかなるから。

しかしだからといってグータラしてたらダメだぞー。しっかり毎日学校に行って毎日お勉強して良い子にしておくんだぞ。じゃないと後々後悔することになるからなー。

ということで私が何を言いたかったかと言いますと「毎日手を抜かず頑張る！」

「継続は力なり」

コーナン商事株式会社

何も知らない状況から合格通知が来るまでの話をします。

最初は、進路希望を決める上で自分についてよく知ることです。自分に合った職業を知るための第一歩です。周りからの印象や自分を見つめて思ったこと等、自分を知りましょう。自分を知ることにより自分に合う職業を見つけやすくなると思います。

社会に出る前に、高校生活を過ごしていく中で大切なこともあります。例えば、コミュニケーション力を上げることや、当たり前のことを普段からできるようにすることです。他にもたくさんありますが、大きく言えばこの2つです。社会に出ると、たくさんの人と関わる必要があります。自分から積極的に話して、相手とのコミュニケーションをとりましょう。そして、遅刻や欠席、宿題の提出期限やルールをきちんと自己管理できるように高校生活の中で規則正しい生活を送りましょう。

希望進路を決める上で、よく考えましょう。自分の将来が決まる選択なので、焦らずゆっくり話し合ひましょう。

希望先が決まったら、会社見学に行きます。進路指導の先生と一緒にいきますが、分からないことがあれば聞きましょう。あとは、メモ用紙を持って行き、大事なことはメモすると会社側の印象も変わると思います。会社の雰囲気や内装、何を目標としているか等メモをしておく面接のときに参考になるのでいいでしょう。

志望先が決まれば、先生との面接練習があります。面接練習をしていく中で大切なことは、「イメージする」・「書く」・「声に出す」の3段階で進めるといいでしょう。まずは、面接で想定される質問に対し、自分が答える内容をイメージし、その内容をプリントなどに書いてみるといいです。文字にすることで内容が明確になり、アピールポイントを整理できるようになります。あとは、面接官の目線で、マナーや身だしなみ、話し方や、回答の内容が適しているか等の確認をするといいです。1人で練習するときは回りくどい表現になっていないかチェックをしましょう。

就職試験の対策をする上で、試験の内容を理解した上で、適切な対策をとりましょう。面接だけの試験もあれば、筆記試験がある会社もあります。筆記試験でも、書類審査と適性検査の2つがあります。私は適性検査の方でした。書類審査はいかに自分を上手くアピールできるかがポイントなので、企業や自分自身のことをよく理解しておきましょう。

適性検査は、能力適性検査で得点を取るので問題(過去問)を繰り返し解きましょう。出題される問題の難易度は高くないので、パターンを覚えたり、限られた時間で速く正確に解く練習をしたりするといいです。

そして、無事に審査が通れば結果が学校に届きます。これらの過程は大まかな話なので少し困惑するかもしれませんが、少しでも役に立てたらと思います。

自分の進路は、あなた自身が決めます。将来に関わることなので、今この時間を大切にしながら過ごしてください。「継続は力なり」です。諦めずにたくさんの壁を乗り越えてください。応援しています。頑張ってください。